

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	12-	9
会計	款	項
一般	8	2

事業名	町単独道路整備事業	課名	建設課
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	適切に道路環境が整備されており安全に通行が出来るようになっている。
	事業内容	町単独費にて道路整備を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
		1 町道改良率	62.9	63.2	%	↑	62.3
	2 道路整備に関する満足度	-	-	-	%	↑	↗
	3						
	4						
	5						
			令和5年度（決算）	令和6年度（決算）	令和7年度（予算）		
	全体事業費（千円）		63,796	94,527	133,060		
財源 内訳	うち一般財源		58,096	1,427	16,260		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
総合評価	II 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					コストの削減

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	費用対効果等を勘案し、道路整備の箇所選定を行い、財源の確保も行う。	③取組の課題	要整備箇所を把握しきれていな い。
②R6年度に実施した取り組み	補修の必要な4路線（六把野新田山田線・六把野新田八幡新田線・笛尾1号線・山田505号線）について、改修工事を実施し完了した。	④今後の改善計画	引き続き、費用対効果等を勘案し、道路整備の箇所選定を行い、財源の確保も行う。